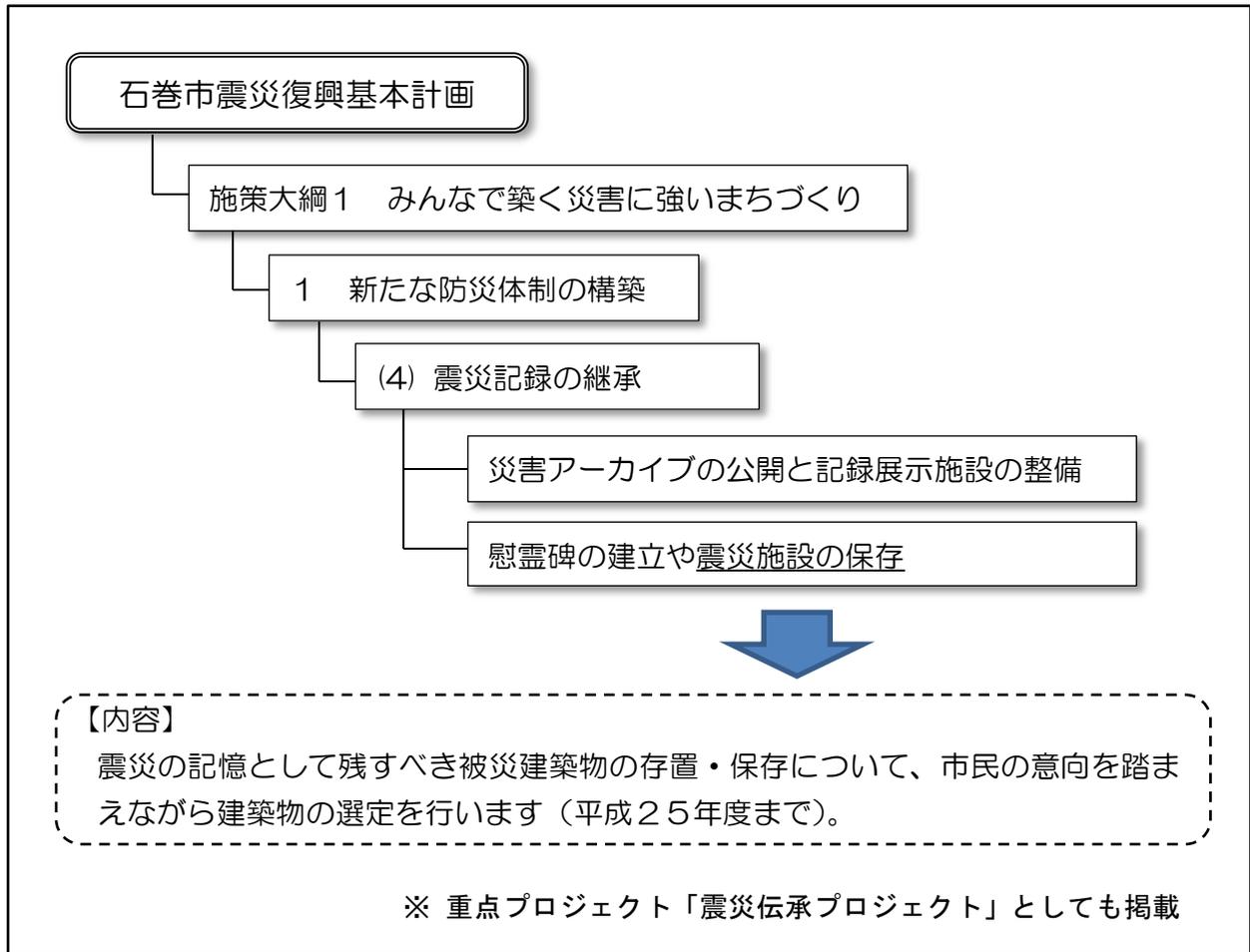


■被災建築物等の保存について



1 基本的な考え方

(1) 保存に取り組む理由

多くの市民が犠牲となった東日本大震災（地震と巨大津波）が、どれだけ恐ろしく凄まじいものだったのかを後世に伝えていくため、また、この震災を経験して得た知識と教訓を、風化させることなく未来の子どもたちに伝承していくことを目的に被災建築物等の保存に取り組む。

(2) 遺族等への配慮

被災した建築物又はその周辺で亡くなった市民が多い中、遺族の想いとしては、いち早く建物を撤去してほしいという意見と、亡くなられた方を慰霊する意味から後世に残してほしいという意見に分かれている。

当市としては、震災復興基本計画に基づく事業として進めるに当たり、遺族の想いにもしっかりと配慮しながら、慎重な保存施設の選定を行う必要がある。

また、保存を決定した場合においても、亡くなられた方々の慰霊の場としての機能を併せ持つ施設として保存・伝承していかなければならない。

2 これまでの経過

平成24年5月	庁内調査の実施	3件の保存候補意見
平成24年5月～6月	市民意見の募集	市報・ホームページ上で募集
平成24年7月5日	意見取りまとめ	44件の意見

3 意見のあった保存すべき施設等

(1) 市民等からの意見 44件（7月5日現在）

① 大川小学校（又はその一部） 38件

主な意見

- ・子ども（兄弟等）を亡くした。悲劇を繰り返さないためにも残してほしい。
- ・死亡・行方不明者が楽しく学校生活を送った学び舎であったという記憶の教訓とともに残してほしい。
- ・つらい思い出、しかし子どもたちが生きたかけがえのない場所。語り継ぐべき。
- ・悲劇の真相を解明するまで残すべき。
- ・壊すことは震災を忘れることになる。記憶を風化させてはいけない。
- ・子どもたちの最後の場所。何も残さないのは、何もかもなくなってしまう。
- ・他県に住む大川小のOB。後世に伝えるためにも残すべき。

- ② 門脇小学校 1件
- ③ ハリストス正教会 1件
- ④ 観慶丸商店と旧東北貯蓄銀行 1件
- ⑤ 田代島の古民家 1件
- ⑥ その他 1件
- ⑦ 反対意見 1件

計44件

【意見応募者の居住地】

- ・石巻市内 14人
- ・県内の他市町 5人
- ・県外 22人
- ・居住地記載なし 3人

(2) 庁内における照会で回答のあった施設 3件

施設の名称	理由
石巻市ハリストス正教会 	<p>現在休館している石ノ森萬画館は今後再開する予定であり、観光客等の目に触れる機会が多いこと、さらに、その観光客と当建築物への被災地見学者との相互の来場者増加の期待もできることなどから、震災伝承のシンボルとして保存すべきものとする。</p>
石巻文化センター 	<p>石巻文化センターは津波の直撃を受け、基本的な本来機能が失われており、移転復旧が計画されている。</p> <p>同センターは、海岸部の最前線に位置する公共施設であるとともに、最上階の展望フロアからは、南浜町をはじめとする被災沿岸地域が一望できること、構造躯体そのものは強固であることから、南浜町地区の公園化計画における</p>

	津波避難施設の機能としても活用できること等、幅広い活用の手法が考えられることから、被災建築物として保存すべきと思考する。
雄勝硯伝統産業会館 	<p>津波により当該地域の建物のほとんどは流出したが、雄勝硯伝統産業会館は大きな被害を受けながらも原型をとどめている。</p> <p>国道号398線にも隣接しており、多くの人の目に触れる機会も多いこと、また、将来的な維持管理も市の直営で行うことが可能なことから、震災伝承のシンボルとして保存すべきものとする。</p>

※参考：反対意見

私は保存の意見に断固反対です。

【理由】

1. 建物数件を残しても地震や津波で被害での損傷に見えないから。
簡単に言えば先日茨城県や栃木県で起きた竜巻被害と変わらないからです。被災建築物を残すというのであれば大規模に手つかずの状態に泥やニオイなど停電や断水全て含めて残すのであれば別です。
2. 地元住民の心の配慮を考えていないから。
意見を募集して残すべきか否かを判断して賛成意見が多ければ残す方向になると思うが、反対意見を持つ人の心情を考えると計り知れない苦痛を強いられると思います。
反対意見を唱える人は沿岸部の方々や、当時そこで働いていた方などが多いと思います、賛成意見は内陸部の人が大半だと思います。
私も会社が〇〇町で家も会社の前にあり約5mの津波で全壊になりました。私も沿岸部住民の一人です。
南浜町に住んでいた親戚がいます。やはり同じです。現在実家の蛇田にいますが以前住んでいた場所には行きたくないし、見たくないとのことでした。
賛否を取り仮に1000人賛成で2人反対だとしたらこれから先2人は一生その建物を見るたびに苦しみ生きていく事になる。これから立ち直ろうとしている人が少数であってもその人達を無視して石巻の負の遺産を展示する必要はないと思います。
3. 現状でもすでに風化しているので建築物を残しても後世に伝わらない。
書物やDVDなどで残す中には18歳以下閲覧禁止などの写真を掲載し後世に伝えれば良いと思う。(市役所内で展示すればよい)
4. 交通渋滞や交通事故、地域治安の悪化の可能性
建築物目的で見物人や観光客などさまざまな交通手段(自家用車、観光バスがほとんど)で見物に来ると思うが、駐車場、誘導員の確保や周辺道路整備、また周辺環境の悪化を考えると清掃業務、騒音問題など様々な問題が出てくるが全て対応出来るか？また予算はどうするのか？維持管理も多額の費用を使うはずで、それこそ後世に借金を残す事になると思います。
5. その他 鯨の缶詰タンクが日和大橋の近くにありますが。
あれを見るたびに3月11日を思い出しても嫌な気分になります、社長とは知り合いでよく話をしますが、「あのタンクは撤去したいのだが保存してほしいという団体がいてね」と困った様子でした。
時々観光客らしき人が車を止めて写真撮影しているが道路にはみ出し危うくぶつける状態になりました。非常に危険であるとともに早く撤去してもらいたいと思う。
後世に記録を残す努力よりも同じ被害にならないように努めるのが行政の仕事なのではないでしょうか？
子供に残すものは石巻のどこにいても安全安心という事なのではないでしょうか？
まずその部分をしっかり勤めてから保存検討すべき問題では・・・今はその時ではないと思う。